

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
「政治のはたらきを理解しているか」をみる問題	5.0%
「世界の人々の生活の様子を資料から捉えることができるか」をみる問題	28.9%
「アジア州の地域的特色を正しく理解しているか」をみる問題	31.4%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
ワークシートを工夫し、考える問題や図表から読み取る問題を多く取り入れることで、児童・生徒の学力向上を図るための調査において、思考・判断・表現、資料活用 of 技能の観点、取り出す力、読み取る力の項目で、都平均を上回る結果となった。	児童・生徒の学力向上を図るための調査では、関心・意欲・態度、知識・理解の観点で都平均を下回っている。考える問題や図表から読みとる問題を数多く行うと同時に、関心・意欲・態度を高める発問や、考えるための知識を定着させることが課題である。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
授業にも前向きに取り組もうとする生徒が多い。プロジェクターを用いて視聴覚教材を多用することで、授業アンケートでは、8割以上の生徒が理解しやすい、分かりやすいと評価している。	視聴覚教材を使用しているが、ただ漫然と解説に使うのではなく、興味・関心を高められる提示の工夫をする必要がある。社会は暗記教科であるという意識が高く、覚えられないという苦手意識をもっている生徒もいる。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	小学校からの積み上げが定着していて、発問によって小学校での学習内容を指摘できる生徒が多い。基礎的な知識を定着させ、その上で、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。	○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。
2年生	関心や意欲が高く、発問に対しても素直に表現できる生徒が多い。その反面で、社会は暗記教科であるという苦手意識が強い生徒も多く、課題の提示を工夫する必要がある。	○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。
3年生	関心や意欲が高く、発問に対しても素直に表現できる生徒が多い。その反面で、社会は暗記教科であるという苦手意識が強い生徒も多く、課題の提示を工夫する必要がある。	○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。

●学校全体で取り組む内容

<p>○小テストを単元ごとに行い、知識の定着を図る。 ○習得した知識を活用して、問題を解決できる力をつけるために、問題解決学習やアクティブラーニングを取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めていく。 ○視聴覚教材を多く活用し、興味・関心を高める発問の工夫を行う。</p>
--